取扱説明書 ―SGI形埋め込み形・高調波ガイドライン適合照明器具― 保管用

yamada

蛍光灯ダウンライト
(天井埋込み専用・一般屋内用・マルチインバータ)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。
お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕 様

品 名	適合ランプ	灯数	取り付け可能天井厚	最大送り容量	適合電線	定格電圧
DF-2904 DF-2905	FL40W FLR40W	1灯	30～40mm	6A	VVFケーブル ø1.6/ø2.0単線	AC100V-254V (±6%)
DF-2988	FHF32W	2灯				

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

施工上の注意

⚠警告

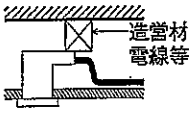
❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

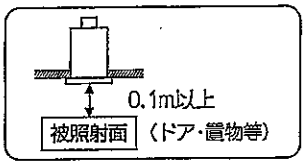
❗ 電源の送り容量は最大で6Aで照明器具専用です。必ず6A以内で使用してください。
★最大容量を越えて使用すると端子部の異常過熱による火災の原因になる場合があります。

❗ 端子に差し込むケーブルは、必ずVVFø1.6またはø2.0の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ 器具の開口面と照射物（被照射面）との距離は0.1m以上離して設置してください。
★被照射物の変形や、破損事故の原因となります。

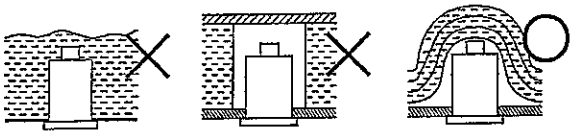
❗ 器具の取付部以外の外郭(可動範囲を含む)が、天井内の造営物や空調ダクトなどの設備または屋内配線の電線ケーブルに触れないよう施工してください。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。



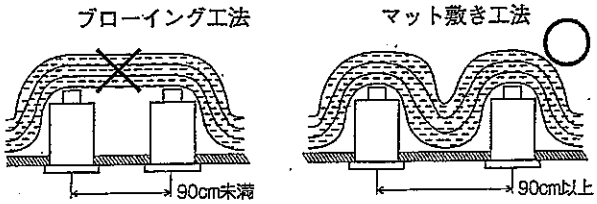


⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ 天井埋め込み専用型です。壁面など天井以外の場所や指定以外の傾斜天井には設置できません。
★異常過熱による熱損事故の原因となります。



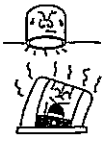
SGI・SG形適合品です。
マット敷工法の住宅用人造鉱物繊維断熱材(JIS A 9521)のロールタイプまたはパットタイプで断熱施工された天井で熱抵抗値6.6㎡・K/W以下の天井で使用できます。
ブローイング工法、特殊な断熱施工された天井には使用できません。
器具取付の際は、施工された断熱材の種類と熱抵抗値をご確認ください。
★指定以外の断熱施工された天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。



器具と器具の間は90cm以上離して取り付けてください。
★異常過熱し、火災の原因となります。

⃠ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。



⚠注意

❗ AC100～254V専用です。必ずAC100～254Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、蓄電池の破裂や火災の原因となることがあります。
　低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯状態になります。また、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
★不良点灯や、調光器、照明器具の故障の原因となります。

使用上の注意

⚠警告

必ず指定されたランプを使用してください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。

濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠注意

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

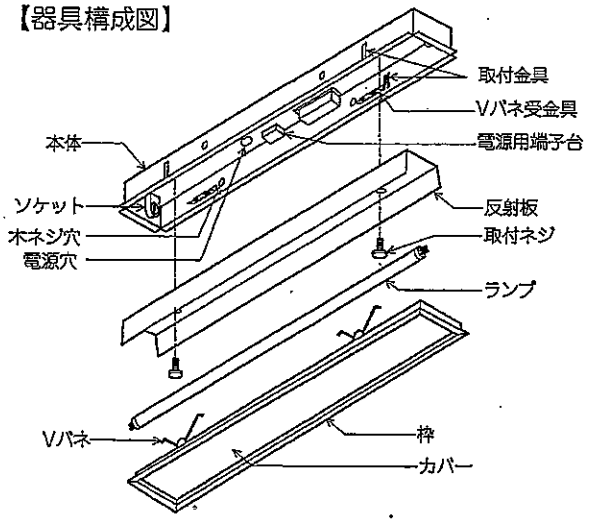
殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

点灯中や消灯直後のランプ、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】

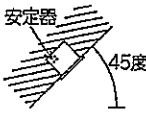
- ランプ：FL40W・・・・DF-2904,2905：1本 / DF-2988：2本
- 取付金具（本体取付用）・・・・・・・・・4個
- 木ネジ・・・・・・・・・・・・・・・・4本
- 保護チューブ（長さ350mm）・・・・・・・・・・4本（DF-2988のみ）
- 取扱説明書（本書）・・・・・・・・・・1枚
- 保証とアフターサービスについて（別紙）・・・・・・・・・・・・・・・1枚

取り付け場所の確認

⚠警告

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

DF-2904 DF-2905	天井切込穴寸法　1235×100
DF-2988	天井切込穴寸法　1235×220

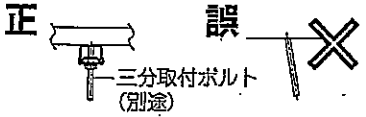


傾斜天井45度まで取付け可能です。
傾斜天井に取付の際、安定器が必ず下方向になるように取り付けてください。
45度を越える傾斜天井には取付けないでください。

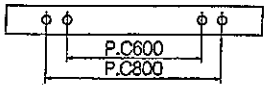
本製品は以下の2通りの取付方法が選択できます。設置環境に合わせて施工してください。

●ボルト吊りで取り付ける場合

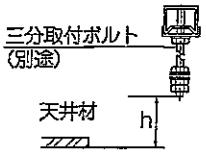
1．天井切穴孔寸法および三分取付ボルト位置を確認してください。
2．取付ボルトはレースウェイ等を使用し、必ず垂直に降ろしてください。
※傾斜したボルトはボルト受金具に無理な力が加わり、器具変形の原因となります。



3．事前に取付ボルトの長さを下の表に従って調節してください。

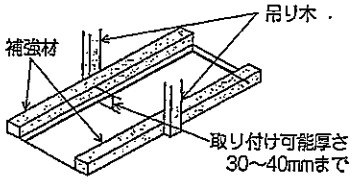


品　名	本体埋込深(mm)	ボルト出しh寸法(mm)
DF-2904	90	60±5
DF-2988		
DF-2905	120	90±5



●取付金具と木ネジで取り付ける場合

埋込穴周囲に補強材を渡し、吊り木で吊る。
★補強材の取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。
断熱材を使用する場合は、補強を終えてから断熱材を敷き、本体で断熱材を押し上げてください。



★指定の厚み以外の天井には取り付けが出来ません。

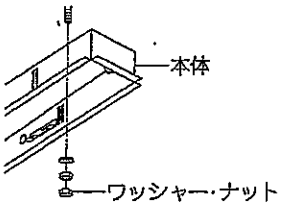
取り付け方　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1．本体を取り付けます。

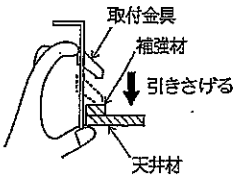
●ボルト吊りの場合

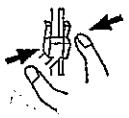
①電源線を本体の電源穴に通します。
②三分取付ボルトに本体を通したあとワッシャー・Wナット(別途)で仮止めします。
③ナットを均等に締めて固定します。その際、本体が水平に保つように調整してください。



●取付金具と木ネジ取付の場合

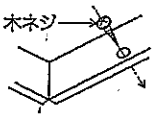
①取付金具(4カ所)を引き下げてください。
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。
傾斜天井に取り付ける場合など、本体取り付けが不安定な場合は、本体側面の木ネジ用穴(4カ所)を用い、木ネジ(付属)で固定してください。





枠と天井の間にスキマができます。

②木ネジ(4カ所)で本体を取り付ける。

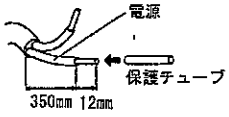


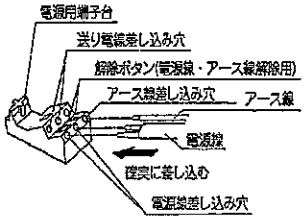
⚠注意⃠ つまんで引き下げないでください。

⚠注意⃠ 木ネジは奥まで確実に取り付けてください。

2．電源線を接続します。

①電源線の被覆を剥き、保護チューブを被せます。
②電源線を電源用端子台のゲージ（12㎜）に合わせて芯線を剥きます。
③電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、幅6㎜のマイナスドライバーの先で真っ直ぐ押すとはずれます。
④アース線を差し込み穴に差し込みます。





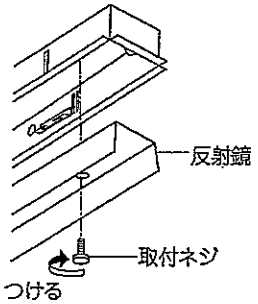
⚠警告❗ この器具にはD種（第3種）接地工事を行ってください。
★アースが不完全な場合は火災や放電事故の原因となります。

❗ 端子台に差し込むケーブルは、必ずVVFø1.6またはø2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ 付属の保護チューブは必ず被せてください。また、送り配線を施す場合、送り側の電源線にも保護チューブは必ず被せてください。
★器具本体と電源線が直接触れると異常加熱による焼損事故の原因となります。

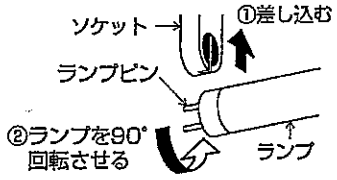
3．反射板をセットします。

本体に反射板をセットし、取付ネジで固定します。



4．ランプをセットします。

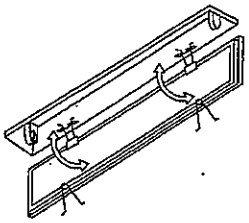
①ランプのピンをソケットの溝に沿って奥まで確実に挿入します。
②ランプを90°回転させます。



⚠注意❗ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて「けが」をする恐れがあります。

5．枠をセットします。

①枠のVバネをVバネ受け金具に引っ掛けてください。(4カ所)
②枠を本体に押し上げてください。



⚠注意⃠ 枠を押し上げるとき、カバーを押さないで。
★傷や破損の原因になることがあります。

お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

●ランプ交換について：ランプの端部が黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

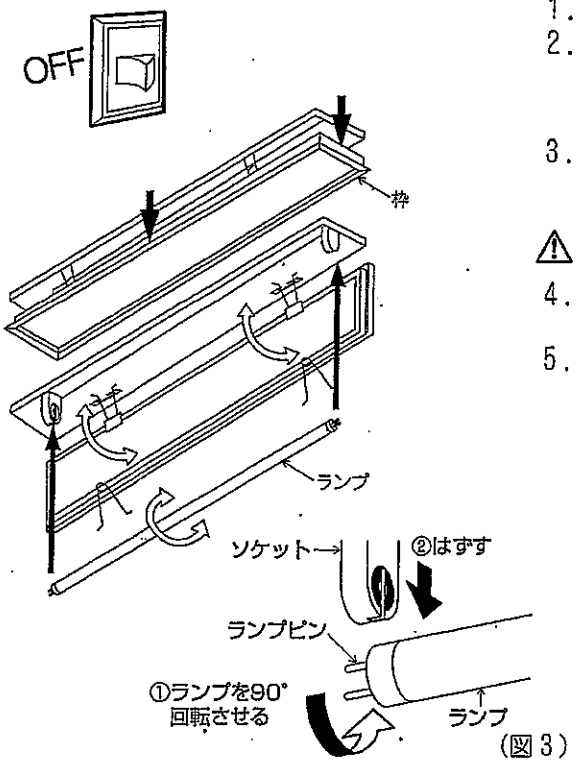
⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。 ★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。 ★感電事故の原因となります。

●ランプは乱暴に扱わないでください。 ★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換



(図3)

1．スイッチを切ります。
2．枠をはずします。
枠の端をつかみVバネがとまる所まで引き下げます。
Vバネ（長辺の2カ所）をはずします。
Vバネは非常に強くできています。枠の戻りと急な落下に注意してください。
3．ランプを交換します。
①ランプを90°回転します。（図3）
②ソケットの溝に沿ってピンをぬきます。

⚠注意 ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

4．新しいランプをセットします。
『●取り付け方』の「4.ランプをセットします。」の項をご参照ください。
5．枠を取り付けます。
Vバネを受金具に引っ掛けてからゆっくり押しあげます。
この時カバー部分は押さないでください。
最後に本体とカバー枠の位置があっているか確認してください。

⚠注意

●ランプは高温になりますので点灯中、消灯直後は触れないでください。
★火傷の原因となります。
●適合ランプ以外は、取り付けできません。必ず器具に表示されているランプをご使用ください。
★異常過熱などによる事故、故障の原因となります。
●ランプのガラス部を強くねじらないでください。
★火ランプが割れて「けが」の原因となります。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

◆こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じたときには、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

スイッチを入れても点灯しない。	●ランプは確実にセットされていますか。ランプが切れていませんか。 新しいランプと交換してみてください。
ランプがすぐ切れてしまう。 しばらく使用していると消えてしまう。	●天井内の断熱材は「グラスウールマット敷きで熱抵抗値6.6㎡・K/W以下」ですか。 この器具はマット敷き工法の住宅用人造鉱物繊維断熱材(JIS A 9521)のロールタイプまたはパットタイプで断熱施工された天井で熱抵抗値6.6㎡・K/W以下で使用できる専用器具です。 プローイング工法、特殊な断熱施工された天井には使用できませんのでSB形などの適合器具と交換してください。 ●正しいランプがセットされていますか。適合ランプ以外は使用しないでください。 表紙の「■仕様」欄に記載された適合ランプを確認してください。
殺虫剤などの薬品をかけてしまった。	●スイッチを切り、水に浸した布を固く絞って、薬品を充分拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名(器具本体のラベルでご確認ください)、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。